

令和元年 5 月 9 日
国土交通政策研究所

**「持続可能な観光」「空き家問題における土地・建物等の所有者不明化」など 11 本の調査の発表
～国土交通政策研究所・研究発表会を 5 月 29 日（水）に開催します～**

今回は、外客の急増の影響への意識の高まりを踏まえた「持続可能な観光政策のあり方」や、「MaaS の欧州等における動向」、「高齢者の移動ニーズ対応した輸送サービス」、地方自治体による空き家の所有者調査上の課題や所有者不明空き家への対応状況を分析した「空き家問題における土地・建物等の所有者不明化」、インフラ・公共サービスの効率的な維持・管理に関する「ドイツ・シュタットベルケ調査」の調査研究についての発表（全 11 本）を予定しています。

※国土交通政策研究所では、日頃の調査研究活動の成果を広く皆様に報告し、業務の参考としていただくとともに、調査研究の改善充実を図るため、毎年、研究発表会を開催しております。

1. 日 時 令和元年 5 月 29 日（水） 10 時 00 分～15 時 30 分
2. 場 所 東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎 2 号館地下 1 階 国土交通省第 2 会議室 A・B
3. プログラム 次頁参照
4. 申込み方法 参加を希望される場合は、5 月 24 日（金）までに、①氏名、②所属・役職、③連絡先（メールアドレス/電話番号）、④参加予定時間帯（午前 or 午後 or 終日）をご記載の上、当研究所あてメール又は FAX にてお申し込み下さい。
《参加費無料》
5. その他 研究発表会は公開で行います。カメラ撮りを希望される報道機関の方は、5 月 27 日（月）までに、所属、氏名、連絡先をメールにてご連絡下さい。

【問い合わせ先】

国土交通政策研究所（中央合同庁舎 2 号館 1 2 階）

Email hqt-prilit@mlit.go.jp

電 話 03-5253-8111（代表）、03-5253-8816（直通）

FAX 03-5253-1678

総務課長 小 原 （内線 53-811）

情報管理係 松 本 （内線 53-816）

国土交通政策研究所 研究発表会

■日時 : 令和元年5月29日(水) 10時00分～15時30分(受付開始 9時30分)

■場所 : 中央合同庁舎第2号館 地下1階 国土交通省第2会議室A・B(東京都千代田区霞が関2-1-2)

■プログラム : 時間、タイトル、発表者は以下のとおり。なお、発表研究概要は別添をご参照ください。

<午前の部>

10:00 ～ 10:10 開会の辞

所長 小林 浩史

10:10 ～ 10:30 持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究

研究官 中村 卓央

10:30 ～ 10:50 モビリティクラウドを活用したシームレスな移動サービス(MaaS)の
動向・効果等に関する調査研究

副所長 藤崎 耕一

10:50 ～ 11:10 高齢者の移動ニーズに対応した旅客輸送サービスに関する調査研究

研究官 金子 希美

11:10 ～ 11:30 多様な地域公共交通サービスの導入状況に関する調査研究

主任研究官 竹内 龍介

11:30 ～ 12:00 日本のPFI事業におけるBOTとBTOに関する一考察

前 日本大学経済学部 教授 上野 賢一

12:00 ～ 13:00 - 休憩 -

<午後の部>

13:00 ～ 13:20 空き家問題における土地・建物等の所有者不明化に関する調査研究

前 主任研究官 土屋 依子

13:20 ～ 13:40 都市のスポンジ化を踏まえた地域による生活サービス等の
マネジメントに関する調査研究(中間報告)

研究官 伊藤 夏樹

13:40 ～ 14:00 エイジング・イン・プレイスに資する生活支援サービスに関する調査研究(中間報告)
～郊外住宅団地における買物支援サービスについて～

研究官 石井 義之

14:00 ～ 14:20 インフラ・公共サービスの効率的な維持・管理に関する調査研究
～ドイツ・シュタットベルケ調査から(中間報告)～

研究官 小谷 将之

14:20 ～ 14:50 地域再生エリアマネジメント負担金制度におけるエリマネ活動による受益の評価
京都大学経営管理大学院 特定教授 吉田 恭

14:50 ～ 15:20 DSGEモデルによる公共投資の経済効果の分析

前 政策分析官 長町 大輔

15:20 ～ 15:30 閉会の辞

副所長 藤崎 耕一

※発表者・タイトルは変更することがあります。また、進行に応じ、時間が多少前後することがあります。

国土交通政策研究所 研究発表会で発表する調査研究の概要は以下のとおりです。

タイトル	概要
持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究 ＜中村 卓央＞	近年の外国人観光客の急増等に伴い、様々な影響が一部の地域において意識され始めている中、我が国でも今後重要となる「持続可能な観光」を主題に、2017年度から実施している調査のうち、2018年度に実施した調査（国内自治体アンケート、国内外現地調査及び観光危機管理等）の結果を報告する。
モビリティクラウドを活用したシームレスな移動サービス（MaaS）の動向・効果等に関する調査研究 ＜藤崎 耕一＞	欧州を中心に拡大するMaaS（Mobility as a Service）に関する調査研究の中間的な報告として、30年度に実施した欧州動向（フィンランド、スウェーデン、イギリス、ドイツ等）の調査結果などについて報告する。
高齢者の移動ニーズに対応した旅客輸送サービスに関する調査研究 ＜金子 希美＞	高齢化が進展する中、営利を目的としない「互助」による輸送も注目されている中で、本研究は自家用有償旅客運送や許可又は登録を要しない運送を行うNPO法人等の団体の運営のあり方や課題を把握し、持続可能な取組となるための工夫等について示すことを目的としている。今回、研究の中間報告として、法的位置づけを基にした類型ごとの特徴等について、アンケート調査の集計結果等を報告する。
多様な地域公共交通サービスの導入状況に関する調査研究 ＜竹内 龍介＞	既往の地域公共交通に関するマニュアル・手引き及び特色ある導入事例を基に、行政の職員が現場で直面する課題へ対処する上で想定される論点を抽出し、既に地域公共交通としてデマンド交通及びコミュニティバスを導入している自治体へ実施したアンケート調査結果に基づき、全国市区町村の取組状況を報告する。
空き家問題における土地・建物等の所有者不明化に関する調査研究 ＜土屋 依子＞	本調査では、ヒアリング調査及びアンケート調査により、地方自治体による空き家の所有者調査上の課題や、所有者不明空き家への対応状況について分析した。所有者不明問題の実態と、所有者探索の円滑化等の対応策について報告する。
都市のスポンジ化を踏まえた地域による生活サービス等のマネジメントに関する調査研究（中間報告） ＜伊藤 夏樹＞	市街地において空家や空地等が増加する「都市のスポンジ化」について、首都圏における簡易的な実態把握を行い、また、スポンジ化で生じた空家や空地等の地域でのマネジメントに向け、各地の取組事例を踏まえた要点や課題を整理した。今回は中間報告として、その内容について報告する。
エイジング・イン・プレイスに資する生活支援サービスに関する調査研究（中間報告）～郊外住宅団地における買物支援サービスについて～ ＜石井 義之＞	高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らし続けるために、多様な生活支援サービスが求められている。本研究では、今後高齢者の急増が予測される大都市郊外において生活支援サービスのあり方を検討しているが、今回の発表では、近年首都圏でも増加している移動販売を中心とした生活支援サービスに関する住民のニーズについて、調査結果を報告する。
インフラ・公共サービスの効率的な維持・管理に関する調査研究～ドイツ・シュタットベルケ調査から（中間報告）～ ＜小谷 将之＞	より効率的な地域インフラや公共サービスの運営・管理が求められている中、ドイツの都市公社・シュタットベルケによる複数の公益事業の包括管理のあり方に着目した調査研究を行っており、中間報告としてドイツ現地調査から得られた結果の概要等を報告する。
DSGEモデルによる公共投資の経済効果の分析 ＜長町 大輔＞	公共投資のマクロ経済効果の有無については、論争が続いている。完全競争市場を想定すれば、効果が小さいと分析されるものの、市場の不完全性等、経済の実態を加味すれば、効果が少なくともゼロになるとは言えないとする研究が多い。本研究では、DSGEモデル等を用いて、公共投資のマクロ経済効果を検証することとする。

※国土交通政策研究所の発表分のみ掲載しています。

国土交通政策研究所 あて

(FAX 03-5253-1678)

国土交通政策研究所・研究発表会 参加希望申込書

所属 (部署、役職)	参加希望者 氏名	メールアドレス (または電話番号)	参加予定 ※ (複数可)
			午前の部 午後の部

※ご参加の時間帯がお決まりの場合は、その時間帯に○印をお願いします。